

諏訪地域の産業プラットフォームで進行する さまざまな価値創造プロジェクト

インダストリーネットワーク株式会社

21世紀にむけた産業の創生と多様な価値創造を可能にする新たな産業集積、「産業のためのプラットフォーム」を、情報技術も利用しながら構築することが急務であると考え、活動を進めてきている。さまざまな組織、企業、個人、大学などの参加で、すでに数多くのプロジェクトが駆動し成果も生まれている。諏訪地域は日本の代表的な産業集積の一つである。この諏訪地域から新たな産業の未来の姿を描き出すことこそ我々の使命であると考えている。



●のめ太プロジェクト

薬を飲みやすくするための、錠剤粉化器具：開発プロジェクトを進行中。



●シルクインテリアプロジェクト 味澤製糸(株)

シルクを使い、素敵なインテリアを作るためのプロジェクト。



●ウォークメイトプロジェクト

東京工業大学といっしょに高齢者向けに歩行介助装置を開発している。



●ナースコールプロジェクト 岡谷市次世代経営会(NEXT)

メーカーではなかなか対応できないナースコールのあり方を議論し開発した。



●電動昇降イス ケルビム

飯伊逸品ものづくり工房との共同制作。床屋さんに重宝するイスを作成。



●六足歩行ロボット 東京大学大学院工学系研究科

S-VIPメンバーと東大とのコラボレーションでロボットを作成。



●長野県岡谷工業高校電気工学クラブ

相撲ロボットを作っている学生をバックアップしている。



●燃料電池自動車 長野県東海第三高校科学研究会

学生と一緒に、燃料電池自動車を開発している。



●コムスプロジェクト

電気自動車「コムス」を21世紀の乗り物として実証提案していく活動。



●SDVプロジェクト

「SDV」とは、「スーパーダビンチ」という全く新しい発想の自転車のこと。千葉県オーテック(有)が開発した。



●SECRET プロジェクト 小林さん

2002年GEISAIへ出展する若手アーティストのオブジェ製作に、SVIPメンバーが協力。



●ストレージ 日拓精工

自社ブランドのストレージが米国第2位ドットヒル社からの受注を獲得。



●音量調節ボリューム「Power Mate」 プロテックデザイン 鈴木 孝彦氏

USBコントローラ「PowerMate」がGriffin Technology社から製品化。



●スチメルトmini200 コジマ工業

発泡スチロール減溶マシン「スチメルトmini200」を共同開発した。



●「ビサイア」 ダイヤ精機製作所

旋盤型微細穴加工機 BISSIAH (ビサイア) ML10を開発。



●平成黄身返し (株) I V E X

世界初の商品：ファンシーエッグ。「殻を傷つけることなく身の表面に卵黄と卵白の配置による文字・模様が描かれた味付けで卵」を展開中。

諏訪地域の産業プラットフォームで進行するさまざまな価値創造プロジェクト



●創業支援ファンド

個人や企業などが始める小さくても創造的なプロジェクトに地域の仲間がファンドをつくりスタートに必要な試作費用などを機動的に助成しようという仕組み。



●理化学研究所

高度な6足歩行ロボット「モノレグ」の設計開発を行っている。



●皮革カバンプロジェクト

諏訪地域と飯田地域の皮革産業が連携し、少量で高品質なオーダー型カバンを作るプロジェクト。少量一個生産のビジネスモデルの開発も目指している。



●匠の街プロジェクト

都市型高付加価値型工房の開発など、製造業、商業、観光、教育などを高度に融合しながら産業の活性化・街づくり・地域の活性化を目指している。



●デスクトップファクトリー研究会

複数の企業による研究会で、机に載るほど小さく、高機能な超小型の工作機械や処理装置を諏訪地域の微細精密技術を応用し開発を進めている。



●諏訪東京理科大学との産学連携

ロボットや素材開発などを地元の中小企業と連携し進めている。



●医療機器研究会

諏訪の精密微細加工技術などを応用した新しく付加価値の高い医療機器やサービスなどの開発を目指す。



●OBマッチング

企業のOBの皆さんに地元のものづくりに力を貸していただくという試み



●企業グループの連携による さまざまなプロジェクトの進行

そのほか、諏訪地域ではさまざまな企業、個人、組織、グループなどによって価値創造プロジェクトがはじまっている。

- ・諏訪バーチャル工業団地
- ・次世代経営者研究会「NEXT」
- ・ニューインダストリーおかやメンバー「NIOM」



●価値づくり研究発表会

個人や企業などが始める小さくても創造的なプロジェクトを地域の企業や人々に披露しファンドによる支援や企業ネットワークによるプロジェクトの応援を地域全体で行っていくという試み



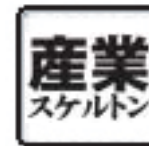
●京都大学との連携で小型パソコン 「17センチPC」の開発

京都大学松井研究室との連携で小型パソコン「17センチPC」の開発試作を行っている。地域の産業集積と大学の需要とを結びつけ、付加価値の高い製品をいかにはやくみだすことができるかというビジネスモデルの研究も同時に行われている。



●白雪会

諏訪地域の産業の未来像・ビジョンを地域産業自ら構築し実現を目指そうと2002年冬よりはじまった任意のメンバーによる横断的で緩やかな地域産業の連携組織。



●諏訪地域のCATV「LCV」による 製造業向けの番組「産業スケルトン」

諏訪地域の企業、個人、グループなどで行われているさまざまなものづくりの取り組みを題材にしてすでに17本ほどの番組が企業との協力により製作され地元にて放送されている。



●世界最速試作センター構想

複数の企業の参加によるグループで高精度、高品位、高密度、高機能なスーパーデバイス・スマートデバイスの開発試作を外部から受託したり独自に開発を行っていくプロジェクト。



●STX21超鉄鋼研究会

新たな金属素材を研究し製品化を目指している。



●ものづくり指南塾

トヨタ生産システムを学び日本のものづくりをさらに高度なものとし国際競争力も高めていこうとしている。



●諏訪圏工業メッセ

諏訪圏工業メッセ実行委員会により6市町村20万人の地域、2500社の産業集積、200社の参加企業、大学、研究機関などを一同にあつめて開催する産業メッセが開催された。